

## 第2回 スーパービジョン・サロン (SVサロン)

担当 山口みほ 青木聖久

### I. 時間配分

- 1) 6:30~6:45 ウェルカム・ホーホケキョ!  
…固有性のある駄菓子をつまみながらの気分調べ
- 2) 6:45~7:10 担当者の「小ネタ・トーク」  
テーマは、「スーパーバイザーとしての成長と気づき ~山口みほ氏を事例にして~」  
…山口みほと青木聖久のスペシャルトーク (対談)
- 3) 7:10~7:15 グループわけ (演習的要素を用いて)
- 4) 7:15~7:50 自由な対話 (ダイアログ)
- 5) 7:50~8:10 各グループから発表 (質問を含む)
- 6) 8:10~8:30 コメント + まとめ

### II. なんでホーホケキョ!

関西らしい、いや、神戸らしい駄菓子と言えば、「鶯ボールでしょ」。

その鶯ボールを製造しているのは、「植垣米菓」という90余年の歴史がある神戸のお菓子メーカーです。ちなみに、青木は子どもの頃から当たり前のように食べていました。

鶯ボールは、昭和5(1930)年に、植垣米菓で作られた米使用の油菓子で、カレント風味の米菓です。鶯ボールの白い部分はもちで、外側の茶褐色の部分は小麦粉で、そして、独特の形状は、油揚げの過程で自然にできるものです。

戦前においては、「肉弾ボール」「爆弾ボール」と呼ばれていたそうですが、戦後、平和の到来と共に、現在の名前になった、と植垣米菓のホームページには書かれておりません。

### III. 今回のSVサロンの特徴

まず、「ホーホケキョ」と鶯ボールをつまみつつ、気分調べをします。そのうえで、トークを通して、スーパーバイザーとしての山口みほ氏、さらには、SVの魅力や、青木が引き出したいと思います。そして、後半の「自由な対話」では、皆さんの気づきをたくさん語り合っただけならば幸いです。それと、第2回目今回のサロンでは、グループでの討論において、教員をオブザーバー参加として位置付けますので、皆さん、ご理解・ご協力のほど、お願いします。最後に、平野先生の言葉をお借りします。「大人の知の空間」としてのサロンを、どうぞお楽しみ下さい。